

審査基準と配点表

審査項目（基礎・加点点数）

1. 事業目的、実施内容及び実施方法（40点）

1.1 事業目的（合計5点、基礎5点、加点0）

【基礎】事業目的が、公募要項が示す事業の目的に合致しているか。

1.2 実施内容及び廃炉対策への適合性（現場適用性を含む）（合計15点、基礎5点、加点10点）

【基礎】実施内容が、公募要領が示す事業内容と整合し、かつ廃炉対策への適合性（現場適用性を含む）を考慮した上で具体的に記載されているか。

【加点】公募要項が示す事業内容以外に、事業目的に対して有効な事業内容が提案されているか（新規性・独創性）。

1.3 実施方法（合計20点、基礎5点、加点15点）

【基礎】実施方法が事業目的・実施内容と整合しているか。

【加点】実施方法について具体的な検討が行われ、効率的・効果的、かつ、実現可能な実施方法が採られているか。また、創意工夫がみられるか。

【加点】特に、公募要項に示した「研究開発の運営」を満たすための具体的な実施方法が示されているか。

2. 実施スケジュール（15点）

2.1 実施スケジュール（合計15点、基礎5点、加点10点）

【基礎】事業目的・実施内容に対し、妥当な実施スケジュールが示されているか。

【加点】実施スケジュールに、事業を適切に実行する根拠（人員・手順等）が示されているか。

【加点】実施手順について、効率的に実施するための工夫が示されているか。

3. 実施体制 (30 点)

3.1 実施体制・役割分担 (合計 10 点. 基礎 5 点、加点 5 点)

【基礎】実施体制図、役割分担（プロジェクトリーダーを含む）、要員数が明確にされているか。

【基礎】事業を遂行可能な人数が確保されているか。

【加点】事務局からの要望等に迅速・柔軟に対応できる体制が備わっているか。

【加点】廃炉対策への適合性（現場適用性を含む）を考慮・判断できる実施能力と連携体制が備わっているか。

【加点】交付決定後、事業を速やかに開始する体制が確保されているか。

【加点】福島県浜通り地域等の地元企業を活用するなど当該地域等の産業振興に寄与しているか。

3.2 組織としての専門性、類似事業実績 (合計 10 点. 基礎 5 点、加点 5 点)

【基礎】組織として事業遂行に不可欠な専門知識、ノウハウ等を有していることが示されているか。

【加点】組織として類似事業の実績があるか。

【加点】組織として事業内容に関連する技術的知見や専門知識、ノウハウ等の蓄積があるか。

【加点】組織として、事業実施に生かされる業務実施経験や、事業実施に役立つ専門機関のネットワークを有しているか。

3.3 従事者の専門性、類似事業実績 (合計 10 点、基礎 5 点、加点 5 点)

【基礎】従事予定者が、事業遂行に不可欠な専門知識、ノウハウ等を有していることが示されているか。

【加点】従事予定者に、類似事業の実績があるか。

【加点】従事予定者に、事業内容に関連する技術的知見や専門知識、ノウハウ等の蓄積があるか。

【加点】従事予定者に、事業実施に生かされる業務経験や、事業実施に役立つ専門家のネットワークを有しているか。

4. 補助事業に要する経費 (合計 10 点. 基礎 5 点、加点 5 点)

【基礎】事業目的・実施内容に対し、適切な経費が計上されているか。

【加点】補助事業に要する経費は、可能な限り合理化されているか。

5. 経営基盤・管理体制 (合計 5 点. 基礎 5 点、加点 0 点)

【基礎】事業遂行のための経営基盤を有しているか（支出に係る証拠書類等の整理・保管体制等を有しているか。）。

【基礎】事業遂行のために、補助事業者として、確実な経理処理が出来ることが確認できるか。

採点基準

- ・ A(良い) × 1、B(やや良い) × 0.7、C(普通) × 0.5、D(やや悪い) × 0.3、E(悪い) × 0
- ・ 各評価項目に A～E の評価を下し、各評価項目の配点に係数を乗じて採点を行う
- ・ 100 点満点： 基礎点 45 点、加点 55 点
- ・ ただし基礎点が 45 点に満たない場合は、採択対象外とする。 以上